

おかげさまで年々諏訪神社を参拝される方が増えていきます。せっかく足を運んでいただく訳ですから、神社はいつも美しく明るい環境を維持したいと考えています。

奉賛会の皆様には、年に二回、春と秋に行う境内周辺の草刈り作業や、神社山林を間伐した薪や雑木などの運び出し作業を行っていただき、広い神社を短時間で整備することが出来ました。また、毎月一日には、若気会の皆様に境内や参道の清掃作業を行っていただき、参拝に来られる方を美しい神社でお迎えする事ができました。

約二年前に発足した氏子総代のOB会には、神社の石垣や階段を高圧洗浄していただき、御影石も真っ白な石肌を取り戻しました。さらに近年のゲリラ豪雨に備え、境内斜面等の付近に側溝を整備して頂きました。大雨が降るといつも雨水が参道へと流れ込んでいましたが、これでこのような心配もなくなりました。

炎天下の作業、本当にお疲れさまでした。

日本のおおむね二種類に区別することができると言われています。一つは通過儀礼と言われるものであり、もう一つは年中行事です。

通過儀礼とは安産祈願や初宮詣、七五三、成人式、結婚式、厄除け、葬儀、年忌供養など人生の様々な節目において、それまでの神のご加護に感謝し、その後の社会的役割を公にするとともに無事に全うできるよう祈念して行われるものです。人生の節目を越える時行われることから、人生儀礼とも言われています。

年中行事は、日本古来の稲作文化に由来した季節ごとに行われる春祭、夏越祭、秋の例祭などの「まつり」や正月、盆、節句など毎年同じ時期に繰り返される行事のことを言います。通過儀礼が個人的な意味合いが強いのに対して、年中行事は地域や集落などの社会集団ごとに営まれるものを意味しています。どちらも私たち日本人の暮らしに深く根差し、今日まで受け継がれてきた伝承的行事です。



江戸中期より300年余受け継がれてきた特殊神事の諏訪獅子

通過儀礼と年中行事

宮司 荻野正道



戦後、地域社会の連帯は急速に壊れ、家族の絆も不安定になりつつあると言われています。通過儀礼や年中行事も、時代の移り変わりとともに、その意味や具体的な祝い方は大きく変化してきました。もともとは宗教に関わる「まつり」であったものが、一種のイベント的な要素が前面に出て本来の意味が忘れられてしまっているということも最近ではよくあることです。

だからといって、受け継がれてきた通過儀礼や年中行事が無くなってしまおうということではありません。最近執り行った初宮詣や七五三では、わが子の誕生や成長を心から喜び、家族や親族とその喜びを分かち合う姿がありました。また、コロナ禍でいつものような盛大な祭りは開かれなくても、密を避けて神社を参拝してくださる方が多くいらっしゃいます。このように、神社は通過儀礼や年中行事といった「伝統的なまつり」を次代につないでいくという役割と、単なる宗教的な場というだけでなく、家族や一族、地域の結びつきを深めていくという大切な役割を担っているということではないでしょうか。

コロナ禍で様々な制限があるからこそ、その真価が問われていると実感しています。

戦後、地域社会の連帯は急速に壊れ、家族の絆も不安定になりつつあると言われています。通過儀礼や年中行事も、時代の移り変わりとともに、その意味や具体的な祝い方は大きく変化してきました。もともとは宗教に関わる「まつり」であったものが、一種のイベント的な要素が前面に出て本来の意味が忘れられてしまっているということも最近ではよくあることです。

だからといって、受け継がれてきた通過儀礼や年中行事が無くなってしまおうということではありません。最近執り行った初宮詣や七五三では、わが子の誕生や成長を心から喜び、家族や親族とその喜びを分かち合う姿がありました。また、コロナ禍でいつものような盛大な祭りは開かれなくても、密を避けて神社を参拝してくださる方が多くいらっしゃいます。このように、神社は通過儀礼や年中行事といった「伝統的なまつり」を次代につないでいくという役割と、単なる宗教的な場というだけでなく、家族や一族、地域の結びつきを深めていくという大切な役割を担っているということではないでしょうか。

コロナ禍で様々な制限があるからこそ、その真価が問われていると実感しています。

奉賛会、若気会、氏子総代OB会の皆様に支えられて



おかげさまで年々諏訪神社を参拝される方が増えていきます。せっかく足を運んでいただく訳ですから、神社はいつも美しく明るい環境を維持したいと考えています。

奉賛会の皆様には、年に二回、春と秋に行う境内周辺の草刈り作業や、神社山林を間伐した薪や雑木などの運び出し作業を行っていただき、広い神社を短時間で整備することが出来ました。また、毎月一日には、若気会の皆様に境内や参道の清掃作業を行っていただき、参拝に来られる方を美しい神社でお迎えする事ができました。

約二年前に発足した氏子総代のOB会には、神社の石垣や階段を高圧洗浄していただき、御影石も真っ白な石肌を取り戻しました。さらに近年のゲリラ豪雨に備え、境内斜面等の付近に側溝を整備して頂きました。大雨が降るといつも雨水が参道へと流れ込んでいましたが、これでこのような心配もなくなりました。

炎天下の作業、本当にお疲れさまでした。



※諏訪神社氏子の皆様へ諸祭儀のご要望をお受け致します。
 ・七五三・初宮詣・神前結婚式、出張祭(地鎮祭・上棟祭・家祈祷・神葬祭等々)
 御祈祷(新車清祓・受験合格祈願・安産祈願・厄除け等々)
 諸祭儀のご要望等御用の方はお気軽にお電話ください。



ホームページを開設しました。
 QRコード又は下記URLにて
 検索してみてください。
<https://www.sakamotojinja-suwa.com/>



フェイスブックに神社の最新情報をアップしています



《編集後記》年間二回発行の予定です。氏子の皆さんからご意見をお寄せいただきたく存じます。お宮に関する思い出やご要望・ご質問、お参り下さった感想など、何でも結構です。
【連絡先】宮司：荻野正道(携帯) 090-9949-7988

幼児初宮詣り

令和三年十月吉日

今年度も昨年同様、新型コロナウイルス感染症防止対策・三密回避のため例大祭当日の合同祈祷は取りやめ、個別で対応させていただきました。
※参拝された皆様からご意見、お写真の提供を頂きました。

「コロナ禍の中、個別対応などで配慮していただき安心してお宮参りに臨めたのでとてもありがたかったです。」



本年は二十九名のお子様がお参りされました。三密を避けるため、一回の神事の参加人数を減らし三回に分けて斎行しました。
お子様のこれからの幸多き人生を願い、末永い氏神様のご加護を祈念しました。
※参拝された方からご意見を頂きました。

「家の都合で、他の方とは別日での七五三詣となりましたが、快く対応していただき、ありがとうございます。以前のお宮参りでは赤ちゃんだった息子が、今回は神事の間、一人で椅子に座って参加していて、本当に大きくなったなあと感慨深かったです。これからも神社にお詣りすることに、我が子の成長の喜びを噛みしめていきたいです。」



ご承諾を得られたお子様のお写真をご紹介します (写真提供: Photo Studio ISAJI)